

## 美祢市防犯対策協議会カルスト防犯パトロール隊（山口県）

### 活動地域

山口県美祢市からまいりました、美祢市防犯対策協議会カルスト防犯パトロール隊です。よろしくお願いいたします。

私たちの団体は山陽と山陰の中間部で、山口県のほぼ中央にあたる美祢全域で活動しております。美祢市は平成 20 年 3 月、従来の美祢市、秋芳町、美東町の 1 市 2 町が合併し、現在の美祢市となっております。人口は約 2 万 7,000 人の小さな街です。宇部興産を始めセメントや除湿剤の原料となる石灰岩を多く産出し、鉱業が大変盛んな場所です。また、カルスト台地で有名な秋吉台国定公園があります。鍾乳洞では秋吉洞という観光資源の豊かな所です。



### 団体の概要

私たちの団体の特徴は、市内各地で発足している 27 の防犯活動団体の有志による、市内横断的に構成された団体であるということです。これを踏まえてこれからのご説明を聞いていただけたらと思います。

まず美祢市防犯対策協議会カルスト防犯パトロール隊の発足の経緯についてお話しします。大きく三つポイントがあります。一つ目は全国的に子供や高齢者が犯罪の被害に遭うことが多かった平成 15 年以降、当時の美祢地区防犯対策協議会の後押しもあり、美祢警察署管内の交番、駐在所を単位に地域の自主防犯組織が相次いで発足をしました。

二つ目は、有志で発足した自主防犯ボランティアの息の長い活動を行うため、相互の連携や協働によって活動を活性化しようということとなり、先ほども説明しましたとおり、複数の団体を横断的に構成する方向で組織化が進みました。

我々の街は 400 平方キロメートルを超える面積です。広い活動エリアをどのようにカバーするのかという問題に直面し、青色防犯パトロール車を導入することにしたという点が三つ目です。車については地元の自動車会社さんに協力をいただき、リース契約を始め、青色回転灯の取付け、パトロール表示ステッカーの貼付けなどのご協力を得て青パトを活動に取り入れました。平成 18 年 4 月に有志 3



人で団体を設立し、1ヶ月後の5月から青パトを使用した広い我々の街を守るためのパト

ロール活動が始まったのです。それ以降、隊員の増員に向けて、防犯連絡所指導員、少年相談員、地元の自主防犯ボランティアグループ等を対象に参画の呼びかけを行い、現在の隊員数は38人となりました。

先ほどもご説明しましたとおり、我々の団体は駐在所単位で結成されたグループであったり、小学校区単位で結成されたグループであったり、市内全域を活動のエリアとしているグループであったり、又は少年相談員であったりと、多様なグループ・メンバーにより構成されています。お気付きのとおり、日頃はそれぞれの地域や団体で活動しておりますが、このカルスト防犯パトロール隊としても活動しており、「二足の防犯わらじ」を履いた形の活動と言えます。

## カルスト防犯パトロール隊

《構成》

- ・駐在所を中心としたボランティア
- ・地域で結成されたボランティア
- ・市内全域から参加するボランティア
- ・防犯連絡所指導員
- ・少年相談員



## 活動の概要

活動のシフト等は、美祢警察署内にある当団体の事務局の「美祢市防犯対策協議会」、防対協といいますが、ここで調整します。我々隊員は、事務局にある計画表をもとに青パト車両の空き状況を確認します。この計画表の白紙を埋めて、予約をしていくという形でこの青パトの車両運用が管理、調整をされております。

青パトは防対協が所有しておりますので、車両に関する維持費や、活動に伴う燃料代等の金銭的な負担は隊員にはかかりません。これらの経費を防対協で負担していただいておりますので、我々はとても活動をしやすい環境にあります。要するに、この計画表を見て青パトの空き状況を確認し、自分が都合の良い時間と合えば、青パトによるパトロールが可能になると、そういう仕組みになっています。

青色回転灯装備した防犯パトロール計画表

2012	日	月	火	水	木	金	土
11月	1				安部さん 10:00~ 12:00		
	2					利根井さん 15:00~ 17:00	
	3						表園さん 21:00~
	4						
	5	大橋さん 18:00~	6 美東 山平 せ良	7 藤井さん 14:00~ 16:00	8 瀧田 14:00~ 16:00	9 利根井さん 15:00~ 17:00	10 表園さん 21:00~
	11	12 大橋さん 18:00~	13 美東 世良 中時	14 藤井さん 14:00~ 16:00	15 宇野さん 10:00~ 12:00	16	17 表園さん 21:00~
	18	19 大橋さん 18:00~	20 美東 世良 中時	21 藤井さん 14:00~ 16:00	22 瀧田 11:00~ 12:00	23	24 表園さん 21:00~
	25	26 大橋さん 18:00~	27 美東 原田 愛田	28 藤井さん 14:00~ 16:00	29	30 利根井さん 15:00~ 17:00	

## ハッスルパトロール隊



少年相談員による子どもたちの見守り



駅前自転車のツーロック運動



夜回りオヤジ

☆まずは、活動の打ち合わせ



☆コンビニなどへ声かけ



というグループがありますが、そのグループも青パトを活用しています。夜回りですから当然活動は夜の時間帯です。駅、コンビニ、駐車場、公園、そういったところを巡回して、中高生などを見かけましたら、「そろそろ帰ろうか」などと声掛けをしています。青パトの機動力、それから青色回転灯の点滅による存在感を活用した活動です。住民の皆さんからも「パトロールしてもらってることが良く分かって助かる」というような声をいただいております。やる気に繋がっています。ただ唯一の悩みは、この日は晩酌ができないということであり、この日は休肝日にしてるメンバーもいます。

それから写真にもあるように、青色のジャンパーと帽子は「防犯の目が至る所にあるよ」ということで、市内の各防犯ボランティアグループで統一しています。

具体的な活動についてですが、カルスト防犯パトロール隊としての活動は、青色回転灯を点灯させた市内各地の防犯パトロールはもちろんのこと、車載のスピーカーを活用した防犯広報も行っています。広報内容は振り込め詐欺、自転車盗難、又は侵入盗の防止等の啓発で、また、市内の小学校が一斉下校となる日が週1回ありますが、その日を中心に月6回程度、児童の見守り活動や一般的な防犯の広報活動を月3回程度、実施しています。先ほど説明したとおり、事務局は防対協の中にあるため、警察署の方とも連携がしやすい環境にあります。犯罪の発生状況やパトロールをする上での注意する点等のアドバイスを受けており、その都度活動の参考にさせていただいています。他の活動としては、全国統一行動ということで、駅周辺の清掃活動や自転車に二個鍵をかけるツーロック運動を駅で開催し、高校生を中心に呼び掛けました。ツーロック運動では県警のマスコットキャラや地元の高中生も参加し、チラシ配りや声掛けを一緒に行いました。放置自転車の撤去も市役所などと連携をして取り組んでおります。

また、単体のボランティアグループと我々カルスト防犯パトロール隊がコラボして合同で取り組む活動もあります。例えば「夜回り親父」と

## 活動の効果と今後の課題



先ほど我々の団体は横断的に組織されたグループだと説明しましたが、そのメリットは大きく四つあると考えています。

日替わりに活動ができるというのがひとつ。都合のいい日を事務局に連絡して、気軽に活動できますので負担が少なく息の長い活動が可能となります。

二つ目は役割分担と相互扶助ということで、お互いに地域の安全・安心を確保しようという

意識が働き、それから車両を使用したパトロールを行っても個人的な負担を伴わないという点が魅力です。それもあり、青パトの機動力を活かした隊員が所属するそれぞれのボランティアグループとコラボした活動が可能になります。

三つ目としては情報交換や情報共有ができるということです。同じ市民として地域の安全・安心を確保するという目的で異なる団体に所属する者同士が顔合わせをしますので、それぞれ知り得た情報などを共有することができます。

四つ目が地域の連帯意識の向上ということです。活動に参加したものが、それぞれ感じたこと、聞いたことをそれぞれの団体に持ち帰りますので、活動の活性化や、さらに層の厚い活動に繋がると考えています。このような取り組みが評価され、昨年11月には自主的な県民活動を支援している公益財団法人山口きらめき財団から、理事長表彰をいただき、新聞等でも紹介をしていただきました。

もちろん、良いことばかりではありませんが、今後の我々の活動を続ける中での課題は二つだと思います。若い世代の参加の促進です。会員の大半は仕事で現役を退かれた方、又は子育てが終わっておられる方です。今後は、例えば小学校、中学校、高校のPTAにも参加を呼び掛けたり、地元の企業の社会貢献活動の一環ということでも活動に参加していただけるような働きかけも必要と思っています。運転免許と時間があれば活動ができる



というような気軽な参加を得ることが必要ではないかと思います。世代間の交流や地域の連帯意識もそこから生まれると考えています。

二つ目は、地域の見回り機能の強化です。1台の青パトで活動しておりますので、広い区域をなかなかカバー、網羅しきれないということが課題になっております。他にも市役所が1台青パトを持っておりますので、その青パトも活用できないかと思っておりますし、他にも既存の青色防犯パトロールグループがありますので、そのグループと連携して情報共有を行い、効果的な活動に取り組みたいと思っております。

先ほど他のグループからも説明があったとおり、子供が被害に遭う事件や事故が多発しておりますので、さらに見回りを強化していきたいと思っております。今後も我々は空き時間を利用して誰もが無理なくということをもットーにして、息の長い活動をしていきたいと考えています。以上が美祿市防犯対策協議会カルスト防犯パトロール隊についてのご紹介です。ありがとうございました。

## 質疑応答

---

●質問 夜間の夜回りパトロールは、何団体ぐらいで、何カ所ぐらい活動されているのでしょうか？

○回答 夜間活動するグループは27グループ中3グループだと思います。先程紹介した夜回り親父というグループは、毎週末午後9時からだいたい2時間程度活動しています。1回の活動は一応5人で当番を組んでいますが、それぞれ都合があるためなかなか全員はそろいません。全員そろった場合は、半分は徒歩部隊ということで駅やコンビニ、駐車場等の中心部を回ります。半分は青パトに乗って、1時間半程度で戻れるコースをパトロールします。それぞれ徒歩部隊、車両部隊が、最後に警察署で合流して解散するという流れになっています。